



## リリース ノート

---

製品名 : **Fiorano Platform**

バージョン : **10.0.0**

本ドキュメントは、**Fiorano Platform 10.0** の重要なリリース情報を記載しています。

本ドキュメントに記載されている情報は、当該製品に関する最新の情報です。他の関連ドキュメント、マニュアル、資料、パンフレットなどに記載されている情報と異なる場合には、本ドキュメントの情報を優先してください。

フィオラノ ソフトウェア 株式会社  
2013 年 11 月 8 日

## 目次

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 1. 新機能 .....                | 3 |
| Fiorano B2B .....           | 3 |
| 新規 / 拡張コンポーネント、アダプター .....  | 3 |
| Fiorano ESB .....           | 4 |
| ダッシュボード .....               | 4 |
| eStudio .....               | 5 |
| 2. 旧バージョンからの変更点 .....       | 5 |
| 3. 解消された問題点 .....           | 5 |
| 4. 製品マニュアル .....            | 6 |
| 5. システム要件 .....             | 7 |
| 6. カスタマ サポート .....          | 7 |
| フィオラノソフトウェア株式会社へのお問合せ ..... | 8 |

## 1. 新機能

**注意:** 旧バージョン (Fiorano SOA Platform) から Fiorano Platform 10.0.0 へバージョン アップされる方は、マイグレーション ガイドを参照してください。マイグレーション ガイドは、インストール ディレクトリの下記の場所にあります。

\$FIORANO\_HOME/migration/FioranoSOAMigrationGuide.pdf

**Fiorano platform 10.0.0** では、次に記載する新機能の追加および既存機能の拡張が実装されています。

### Fiorano B2B

Fiorano B2B は、エンタープライズ規模の B2B (電子商取引) ためのゲートウェイです。取引先企業、ディストリビュータ、顧客などのビジネス パートナーとの間の電子的ビジネス文書の交換をサポートします。

主な機能として次のものがあります。

- 取引先毎のコンフィグレーション機能
- ビジネス アグリーメントの設定機能
- 取引先毎に異なるプロトコルのサポート (AS1、AS2、EBMS、SOAP)
- トランザクションの監視およびトランザクション エラーの処理機能

### 新規 / 拡張コンポーネント、アダプター

#### ◆ **SWIFTMTValidator** **NEW**

SWIFT MT メッセージの検証用コンポーネント

#### ◆ **ISO20022Validator** **NEW**

ISO2011 メッセージの検証用コンポーネント

#### ◆ **MT2XML** **NEW**

SWIFT MT メッセージを XML に変換するコンポーネント

#### ◆ **XML2MT** **NEW**

XML を SWIFT MT メッセージに変換するコンポーネント

#### ◆ **B2BConnector** **NEW**

Fiorano B2B と通信するためのコンポーネント

#### ◆ **MSMQReceiver 5.0** **NEW**

C# API を用いて MSMQ からのメッセージを受信するためのアダプター

#### ◆ **JMSOut 5.0**

OracleAQ との接続サポートを追加

#### ◆ **JMSReplier**

コンシューマー (レシーバー) 側でのメッセージ セレクターのサポートを追加

#### ◆ **WSStub**

クライアント認証および IP 情報の送信機能を追加。リクエスト、レスポンス スキーマのネームスペース (名前空間) の設定機能を追加

◆ **DB**

同一テーブル内のデータのマージングを行う MERGE ステートメントの USING 句において dual キーワードのサポートを追加

◆ **HTTPReceiver**

ベーシック認証のサポートを追加

◆ **Compression/Decompression**

ファイルの圧縮、解凍機能を追加

◆ **SocketAdapter**

バイト メッセージにおいて 16 進数の区切り文字の使用を追加

◆ **FTPGet/FTPput**

implicit モードの暗号化通信を行う FTPS プロトコルのサポートを追加

◆ **NEFT Adapters**

名前付コンフィグ、検証、ダイナミック データ タイプのサポートを追加

◆ **SAPB1**

仕訳伝票のビジネス オブジェクトを CPS で指定する機能を追加

◆ **DistributionService**

リンクしているコンポーネントのアウトプット ポートのスキーマを名前付コンフィグから設定する機能を追加

◆ **Encryption**

プライベート キーのパスワード設定をオプションで選択可能に

◆ **C# Components**

C# のサンプル コンポーネントを追加

## Fiorano ESB

- ◆ イベント プロセスの異なるバージョンを同時に実行する機能を追加
- ◆ Java 7 上でのサーバー稼働をサポート
- ◆ [監視ユーティリティ] NT サービス、バックグラウンド サービスでの実行を追加
- ◆ [CLI] リポジトリに在るイベント プロセスの詳細を表示する機能を追加
- ◆ パッチ適用ツールを改善し、パッチ管理を容易に
- ◆ コンポーネントのクライアント サイド永続化機能の無効化オプションを追加
- ◆ ピア サーバーに組み込まれている Jetty サーバーにクライアント サイド認証機能を追加
- ◆ [パスワード暗号化] ユーザー独自の暗号化を指定できるオプションを追加
- ◆ サンプル イベント プロセスの追加

## ダッシュボード

- ◆ ESB サーバー、ピア サーバーの MQ レイヤーのログの表示機能、エクスポート機能の追加
- ◆ イベント プロセス内のコンポーネントの PDI (プロセス ID) の表示オプションを追加

- ◆ ドキュメントトラッキングのソート（昇順、降順）機能を追加
- ◆ コンポーネントのインプット ポートに入力されるデータのモニタリング機能を追加
- ◆ HA モードにおけるパッシブ サーバーの再起動、停止オプションを追加
- ◆ 既存アラート設定の更新機能を追加

## eStudio

- ◆ イベント プロセス内のコンポーネントの起動順、停止順を指定できる機能を追加
- ◆ サービス リポジトリ内のサービスをオフライン リポジトリにエクスポートする機能を追加
- ◆ アウトプット ログ、エラー ログ内の検索機能を追加
- ◆ ブレイク ポイントに留まっているメッセージの検証機能を追加
- ◆ マッパーに新規ファンクレット UUID を追加

## 2. 旧バージョンからの変更点

Fiorano Platform 10.0.0 では、下記の項目が旧バージョンから変更されています。

- デフォルトのタイムアウト時間、メモリ値をサーバー毎の設定に変更しました。
- リモートのコンポーネントの状態がそのサブフローの状態に依存しないよう変更しました。これによって、サブフローを停止しても、そのサブフローに在るリモート コンポーネントは停止されません。
- コンポーネントのアウトプット ポートから出力されるメッセージのデフォルトのプライオリティを 4 に変更しました。
- 最新のログが先頭に表示されるように変更されました。
- **[AS2Connector]** コンポーネント: 受信モードにおいてインプット ポートは CPS 設定後に表示されるように変更されました。
- コンポーネントにおけるメッセージ暗号化を、名前付コンフィグ MessageEncryptionConfiguration のの内容で設定するように変更しました。

## 3. 解消された問題点

Fiorano Platform 10.0.0 で解消された問題点は、以下の通りです。

- CLI (コマンドライン) バッチ ファイルが正常に実行できなかった問題
- **[RESTConsumer]** コンポーネント: 複数のヘッダー パラメータがある場合、サーバーに送信できなかった問題
- **[Xslt]** コンポーネント: インプット データの検証がインプット データの処理前にできなかった問題

- **[RESTStub]** コンポーネント: リソース パスに記号文字が使用できなかった問題
- **[JMSOut 4.0]** コンポーネント: ディストネーションがキューの場合にメッセージを受信できなかった問題
- メッセージ サイズが大きくバッファ サイズの限度を超えた場合にブレークポイントの動作が正しくなかった問題
- NT サービスとしてサーバーを稼働させた場合にシステム クロックに影響を及ぼす問題
- **[FileTransmitter]** コンポーネント: ファイル名に空白を含むファイルを処理できなかった問題
- **[AS2Connector]** コンポーネント: 受信モードにおいて2番目以降のメッセージの処理ができなかった問題
- **[SocketAdapter]** コンポーネント: インメモリ モードでコンポーネント起動した場合にメッセージを受信できなかった問題
- インポートされたスキーマ リポジトリに在るスキーマを外部参照しているイベント プロセスにおいてルート上でスキーマ不一致が発生した問題

## 4. 製品マニュアル

製品マニュアルは、Web ページ [Fiorano SOA マニュアル センター](#) から参照することができます。

| マニュアル名                               | 説明                                                                                                               |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Fiorano 10 User Guide</b>         | Fiorano 10 User Guide は、すべてのユーザーが対象です。サービスコンポーネントを作成する開発者に向けて、API も説明しています。<br>このガイドは、PDF 版と WebHelp 版 で提供しています。 |
| <b>Fiorano eStudio User Guide</b>    | Fiorano eStudio User Guide は、イベント プロセスを開発するすべてのユーザーを対象としています。<br>このガイドは、eStudio の機能と使用方法を説明しています。                |
| <b>Getting Started Guide</b>         | このマニュアルは、インストール方法、ESB サーバーおよび Peer サーバーの設定方法、Peer サーバーの追加方法、サービスコンポーネントの使用法を説明しています。                             |
| <b>Fiorano 10 Installation Guide</b> | このマニュアルは、Fiorano Platform 10 のインストール方法を解説しています。                                                                  |

## 5. システム要件

| コンポーネント                                | OS                                                                                | Java<br>バージョン | 最小値必要な<br>H/W                    | 推奨する H/W                                 |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------|------------------------------------------|
| ESB Server                             | Windows NT Server 2003<br>Red Hat Linux 4<br>HPUx 11i<br>IBM AIX 5x<br>Solaris 10 | 1.6 以降        | 2 GB RAM<br>5 GB ディスク容量<br>1 CPU | 4 GB RAM<br>10 GB ディスク容量<br>2 デュアルコア CPU |
| Peer Server                            | Windows NT Server 2003<br>Red Hat Linux 4<br>HPUx 11i<br>IBM AIX 5x<br>Solaris 10 | 1.6 以降        | 2 GB RAM<br>5 GB ディスク容量<br>1 CPU | 8 GB RAM<br>10 GB ディスク容量<br>2 デュアルコア CPU |
| Fiorano Studio<br>および<br>Fiorano Tools | Windows NT Server 2003<br>Red Hat Linux 4<br>HPUx 11i<br>IBM AIX 5x<br>Solaris 10 | 1.6 以降        | 1 GB RAM<br>1 GB ディスク容量<br>1 CPU | 2 GB RAM<br>2 GB ディスク容量<br>1 デュアルコア CPU  |

## 6. カスタマ サポート

- 評価版: [info\\_jp@fiorano.com](mailto:info_jp@fiorano.com)

評価版をご試用になりたい場合、フィオラノ ソフトウェアまでメールでご連絡ください。

- 東京テクニカル サポート センター:

電話 03 6228 4162 (月～金の 9:00 - 17:00) 登録ユーザーのみ

- サポート ポータル: [Fiorano Support Portal](#)

Fiorano Support Portal のご利用には、ログイン ID が必要です。

ログイン ID については、フィオラノ ソフトウェアまでお問い合わせください。

## フィオラノ ソフトウェア株式会社へのお問合せ

フィオラノ ソフトウェア株式会社 銀座オフィス:

電話: 03 6228 4162

FAX: 03 4496 6466

メール: [info\\_jp@fiorano.com](mailto:info_jp@fiorano.com)